

議会だより



令和8年臨時会・3月定例会

あらまし	2
予算審査特別委員会	4
議案審議・臨時会	6
議会構成・一般質問目次	8
一般質問 6人が登壇	10
委員会レポート・広域議会報告	16
わたしたちの町(猪苗代小学校)	18

春の到来！
観音寺川の桜



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



マチイロ



Google Play

令和8年度 予算が成立!

あいらまし

令和8年第3回定例会は3月3日から3月16日まで開催されました。町長から提出された案件は、損害賠償に係る専決処分2件の報告2件、令和7年度補正予算8件、令和8年度当初予算11件、条例の一部改正5件、指定管理者の指定16件、計画の一部変更1件、計画の制定1件、人権擁護委員に係る諮問1件の計45件。追加議案として条例の一部改正2件、工事請負契約の変更1件の計3件であり、すべて原案のとおり、可決しました。

一般質問は6人の議員が2日間にわたり行いました。

【一般会計予算の概要】

総額は93億円

前年度比6900万円の減額

歳入は、自主財源の根幹である町税の確保がなお厳しい状況だが、徴収率向上に努め、負担の公平性を図る。



歳出は、物価高が及ぼす影響や少子高齢化に伴う義務的経費の増加などが見込まれる。内部管理経費の節減や、臨時的経費も事業の効果と緊急性を最重点に選別することにより、事業費の圧縮を図る。

令和8年度末の町債現在額は、前年度比3億9929万円の減の約76億4104万円を見込んでおり、今後も安定した財政基盤を確保し、可能な限り起債額を抑制する。

【主な予算】

『歳入』

町税4.7%増!

個人町民税の現年度分は、事業所得に物価上昇の影響が懸念されるが、給与及び農業所得の伸長により増額を見込む。法人町民税の現年度分は、一部の業種で持ち直しが続いているため増額が見込まれる。

町債発行は予算総額の10%以内、かつ元金償還額以内!

町債は、後年度に交付税措置のある過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債を活用。前年度比で5040万円減の6億7980万円を計上。

『歳出』

○総務費

地域おこし協力隊事業

5900万円

地域協力活動を通して、定住・定着化を図る。

○民生費

出産手当支給事業

900万円

第1子から一律20万円の支給に拡充。

○衛生費

ごみ焼却施設及びし尿処理施設跡地整備事業

1億5900万円

ごみ減量化に向け、資源ごみ等の一時保管を目的としたストックヤードを整備。

○農林土木費

農業用機械整備・雇用就農支援事業

1000万円

担い手の確保と育成及び経営の安定を図る。

○商工観光費

風評被害対策事業

4414万円

本町の復興に向けた県外学校向けバス助成、プレミアム付旅行券事業、旅行エージェント支援。

定住促進事業

900万円

移住者向けの新築・中古住宅購入の補助。

○土木費

社会資本整備総合交付金事業

2億5802万円

町道の舗装長寿命化修繕計画策定業務委託や町道堅田三ツ和線舗装補修工事、町道三城湯天鏡台線舗装補修工事。

○教育費

猪苗代中学校駐車場舗装工事

2800万円

中学校体育館北側駐車場の舗装。

学校給食無償化事業

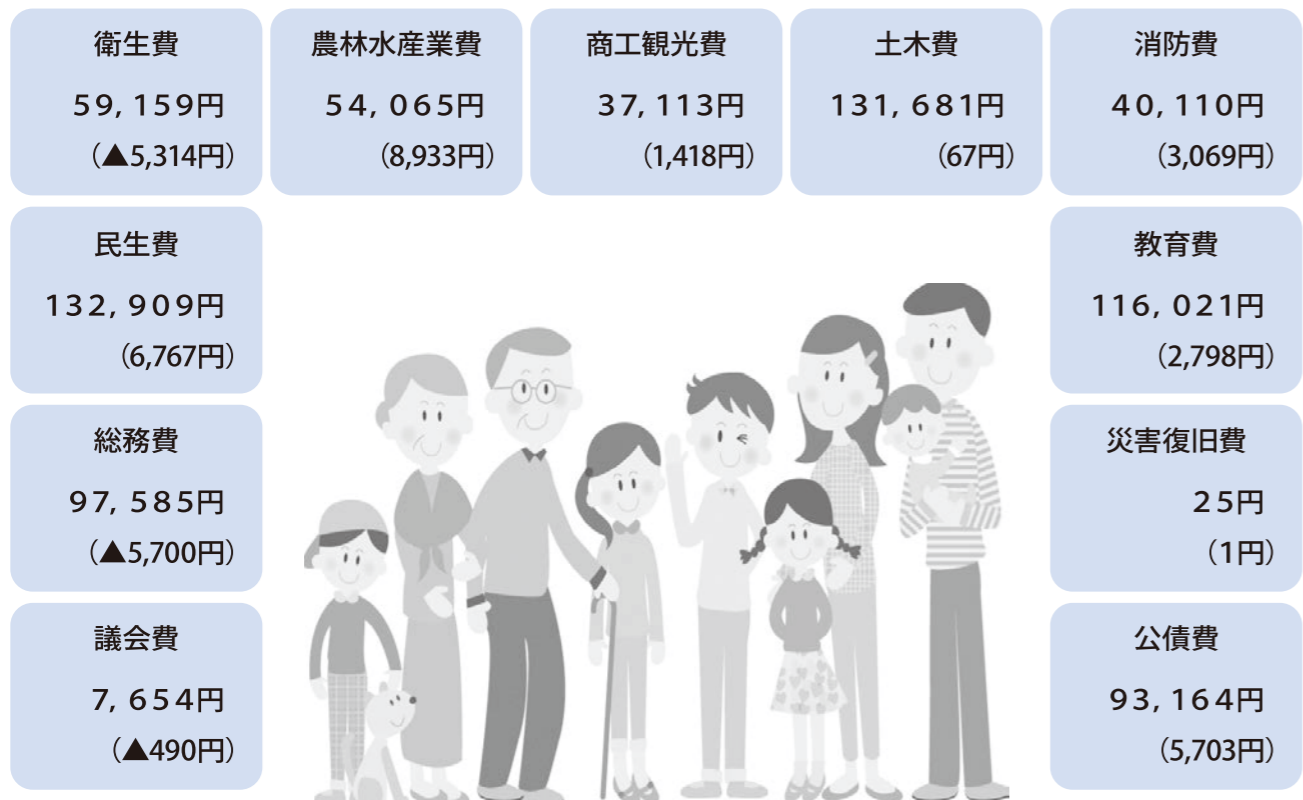
5700万円

小中学校の児童生徒を対象とした支援。

一般会計予算の主な使い道

町民一人当たり769,486円

※3月末の人口12,047人で試算し、予備費は含みません



※ () 内は対前年比

予算に係る主な質疑は、4ページ5ページの『予算特別審査委員会』をご覧ください。

議長を除く11名の委員で、令和7年度補正予算、令和8年度予算を審査しました。

令和7年度補正予算 一般会計

〔歳入〕

〔町税〕

問 町民税法人分の現年課税が増加している要因は。
答 法人税割は利益に課税される。建設業、娯楽業に加え、米価高騰等で農業法人が前年比で121%伸びがあった。

〔寄附金〕

問 ふるさと納税寄附金1千万円の増加となった品目は。
答 年間金額は、馬刺し、フアマリアの子供服。件数は、馬刺し、米、ひし茶の順。

〔繰入金〕

問 小野弥太郎記念育英基金繰入金の申込がなかった理由は。
答 奨学金は年24万円であるが高校の授業料無償化に伴うのか、申し込みがない。今後、基金活用を検討する。

〔歳出〕

〔総務費〕

問 ガーナ共和国の首都アクラ市との姉妹都市の締結は。
答 本町で締結式を行いたいため、現在協議を進めている。

野口英世生誕150年もあり、ガーナとの交流は野口英世記念館だけでなく、国際交流協会での留学生の受け入れ、農業関係者の交流等が行われており、交流を進める意思の周知も今後強化を図っていく。

〔民生費〕

問 老人福祉センター温泉管布設替測量設計委託とは。
答 老人福祉センターは40年以上経過し、温泉管漏水が相次いでいる。長寿命化を図るべく、温泉管布設替えの設計を委託をする。

〔農林水産業費〕

問 猪苗代町産農産物等ポータルサイトは商品を紹介するイメージだが検索への対応が十分でない。今後は。
答 猪苗代のお米と蕎麦をPRするサイトの検索を強化

問 総務債、スキー場再開出資額が起債対象となる理由は。
答 国県の協議により、将来にわたる継続的な民間雇用の創出が見込まれる事業として、過疎対策事業債の雇用創出特別分である。



再開がまれるスキー場

〔歳出〕

〔総務費〕

問 市町村生活バス運行委託にかかる減額は。
答 事業者の赤字補てんを計上しており、運行実績による減額である。

し、ホームページとのリンクも図る。
問 いなわしるカワセミ水族館小中学生学習委託とは。
答 緑の村のカワセミ水族館は、いろいろな事業を行って、利用客も伸びている。今のところ、小中学生は無料、保護者は2分の1である。これをカワセミ水族館に委託し、無料になる事業を進めていきたい。より多くの小中学生、保護者が来館し、いろいろな学習もして欲しい。

併せて、カワセミ水族館展示館2階エアコン設置工事を行うものである。

〔商工費〕

問 地域活性化起業人発案事業の内容は。
答 観光協会にプロ人材として派遣しているが、まちづくり猪苗代にもプロ人材を派遣し、自走化並びに中心市街地等の活性化、空き店舗対策等を実施の予定である。発案事業の実施のため、地域活性化起業人を検討し、中心市街地活性化を行うものである。

問 放課後児童対策費会計年度任用職員人件費の減額理由は。
答 要支援児童に対する指導員を充足出来なかった。指導員の待遇改善を検討する。

〔農林水産業費〕

問 多面的機能支払交付金事業の補助金増額は。
答 農地維持支払い、共同活動資源向上支払い、水路等の長寿命化に対する支払い、3種類あり、農地維持と共同活動等の取組面積の確定による交付額の増額である。

〔商工費〕

問 商工業振興対策費の交付金の移住支援金の減額は。
答 単身での移住3件、世帯での移住3件、さらには子育て世帯として1件分を予定していたが、単身2件の見込みであるため減額する。

〔土木費〕

問 都市下水道での内水ハザードマップ作成とは。
答 7年度に内水面浸水想定区域で、以前浸水があった箇所データを収集し、データ化、図面化した。8年度にハザードマップを作成し、ホームページ等でマップを掲載して周知徹底を図りたい。



令和6年8月の大雨

問 道路メンテナンス事業の橋梁の委託で、橋梁の更新設計と補修調査とは。
答 更新は、作り直すということ、補修は、部分的な補修を行うということ。基本的には、補修を進めているが、構造的なことを踏まえて更新も考える。説明会等が必要とする場合は対応する。

問 こども園管理費の委託料の減額は。
答 ひまわりこども園の通園バスの運行台数を4台計上したが、実績が3台となった。利用者の減により1台分を減額した。

〔国民健康保険特別会計〕

問 国保基金積立金の減額状況は。
答 歳入と歳出の財源調整として、基金積立金を減額充当するが、基金積立金は当初比約3千8百万程増加しており、令和8年以降の国保税の激変緩和に備える。

〔介護保険特別会計〕

問 施設介護サービス給付費の減額は。施設で職員数が足りなく、受け入れられない状況か。
答 実績見込みで35人減となり、減額となった。施設入所の順番待ちが増加しているが、施設介護サービス給付費が受けにくいと見込んでいる。

〔消防費〕

問 洪水・土砂災害ハザードマップ作成委託とは。
答 県は、7年度に観音寺川、大倉川、高森川、小田川、梵天川、高橋川、小黒川の浸水想定区域を公表し、ハザードマップの更新を行う。土砂災害も最新の土砂災害警戒区域を加える。

問 消防自動車の配備は。
答 消防ポンプ自動車3城潟で、小型動力ポンプ積載型軽積載車が西館である。



消防ポンプ自動車

令和8年度予算 一般会計

〔歳入〕

〔地方消費税交付金〕

問 食品の消費税は税制が変われば、補正するのか。
答 当初予算の計上は、実績額に基づき計上をしている。減税政策を実施する場合には、減収となる見込みである。

〔地方交付税〕

問 地方交付税増額の要因は。物価高、人件費増も関係するののか。
答 職員給与改善費、会計年度任用職員に係る給与改定分、地域の元気創造事業費は新たな価格転嫁分に対応、臨時財政対策債を償還する8年度限りの措置を講じたものである。

〔県支出金〕

問 学校給食費補助金は、1人月5千200円の補助金では賄えないがその対応は。
答 補助金の計算は国の基準が示されており、それに従い算出している。補助金で賄えないものは歳出にかかる経費で不足なく計上している。

〔教育費〕

問 ひまわりこども園地中探査業務委託とは。
答 ひまわりこども園の駐車場地下に設置の地中熱冷暖房システムの配管周辺のアスファルトの一部に陥没があり、地盤探査機を使用し、地中冷暖の配管の周辺のアスファルト下の状況を調査するものである。

問 教育事業助成費の補助金の増額は。
答 猪苗代高校の全国公募で入学する町外からの留学生の家賃補助分で、一人当たり年間120万程で、8名見込みである。

〔国民健康保険特別会計〕

問 国民健康保険税が増額の理由は。
答 子ども・子育て支援納付金分が、令和8年度から追加される。

審議した主な議案

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金に係る不適切な事務処理の責任を負い、町長及び副町長の給与の支給額を減額するため条例を改正する。

【主な質疑】

問 不適切な事務処理に対する担当職員、担当課長の処分が決まっているから、町長、副町長の給与の減額なのか。
答 事務遺漏についてはお詫び申し上げます。担当職員の処分は2月13日の議会全員協議会で説明後、2月24日に懲戒審査委員会を開催し3月1日付懲戒辞令の交付を行った。

猪苗代町出産手当支給条例の一部を改正する条例

子育て世帯への経済的支援の拡充を目的として、出産手当の額を増額するとともに支給要件を5月以上から3月以上住所を有するところに緩和するため、条例を改正する。

【主な質疑】

問 国籍要件を廃止したのは、答 国籍要件で支給できなかった事例があったため、一定期間、町に住所を有するものであれば支給する。
問 出産手当一律20万円の基準は、答 第4子以降の金額が20万円。それを第1子から支給。
問 出産手当を増額する多くの自治体は、1年以上の住民登録など町よりも厳しい要件なのでは。答 毎年、住所要件で支給されなかった方がいたので、住所要件を5か月から3か月に変えた。

賛成討論

【鈴木元】
20万円に異論はない。この要件緩和では猪苗代町で生み育てるという目的には達しない。

賛成討論

【大高 佐代美】
経済的理由で出産をためらっている方の後押しになる。

【渡部 一登】

初めから手厚い支援が必要。そのうえで猪苗代町が好きで住んでいただきたい。

【五十嵐ミエ子】

縛りがなく誰でも気軽に猪苗代町に来て出産できる。

追加議案

猪苗代町こども園条例の一部を改正する条例

こども誰でも通園制度を実施するにあたり、事業内容、保護者の費用負担など事業の実施に必要な事項を定める。

反対討論

【五十嵐 ミエ子】
全国の自治体で開始されることも誰でも通園制度には反対。

町道堅田三ツ和線舗装補修工事請負契約の一部変更

当初契約では標準工事期間の確保が困難なため。

【主な質疑】

問 工事期間が確保できない要因は。答 12月に国の補正予算を確保。当初契約では繰越できず、先日繰越承認の議決があったことから、工期を8月31日まで伸ばすもの。

【審議した議案と可決状況】 下記以外の議案については全会一致で可決しました。

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	結果
	長友海夢	山内浩二	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	後藤公男	関沢和人	鈴木元	長澤操	
議案第26号 猪苗代町出産手当支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議	可決
議案第48号 猪苗代町こども園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	可決

※賛成：「○」、反対「×」、議長「議」、同数の場合には議長が採決に加わる。

臨時会

あらし

令和8年第1回臨時会は1月30日に開催され、町長から提出された議案は、専決処分の承認1件、令和7年度一般会計補正予算1件の2件で、原案のとおり、全会一致で可決しました。

【主な審議内容】

○専決処分の承認を求めることについて

（令和7年度猪苗代町一般会計補正予算（第8号））

1月23日に衆議院が解散したことから、衆議院議員総選挙に係る経費を早急に計上し、執行する必要があるため、地方自治法179条第1項の規定により専決処分し、同条第3項の規定により報告、承認を求めるもの

○令和7年度猪苗代町一般会計補正予算

（第9号）

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者等の支援の実施を目的として、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う高齢者世帯支援事業、物価高対応子育て応援手当、食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援給付金及び猪苗代町民応援デジタル商品券交付事業、猪苗代町電子クーポン発行事業に係る予算を計上。

【主な質疑】

問 子育て世帯は町独自に1万円上乗せ給付か。
答 国からの交付金の中で予算調整し上乗せ給付。

問 なぜ電子クーポンで給付するのか。
答 精算において間違いと手間がかからない。

問 使用の際、高齢者等へのサポートは。
答 電話等での問い合わせや、使用店舗でも問い合わせに対応する。

あらし

令和8年第2回臨時会は2月13日に開催され、町長から提出された議案は、専決処分の報告1件、工事請負契約の締結1件、工事請負契約の一部変更1件、財産の処分1件を、原案のとおり、全会一致で可決しました。

【主な審議内容】

○町道堅田五百苅線流雪溝整備工事請負契約の一部変更

追加工事等により契約金額を275万円増額。

【主な質疑】

問 追加工事は契約当初に分からなかったのか。
答 施行中に判明したもの。

○町道堅田三ツ和線舗装補修工事請負契約の締結

老朽化した道路舗装を補修し、安全・安心な道路環境の維持を図るための工事請負契約。

◎契約金額 1億203万円

※令和8年3月定例会において、この工事の予算の次年度への繰越と、工期を令和8年8月31日とする変更契約を承認しました。

○ごみ焼却施設等解体工事請負契約の一部変更

当初の契約を上回る多量の耐火煉瓦の運搬と処分が必要となったため、工事請負契約金額を2,992万円の増額変更。

【主な質疑】

問 設計の段階で現地調査は行わなかったのか。
答 現地確認は行わず、設計図での積算。

問 請負金額が増額になった要因は。
答 耐火煉瓦の量が当初見込みの3.5倍となり、運搬及び処分費用が増えた。

○財産の処分について

乳下公有林野等官行造林地（使用収益権者：西山組合同会）の売払。

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められました

人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、鈴木重隆氏を推薦することに異議がない旨、答申した。
任期は令和8年7月1日から令和11年6月30日まで。

すず き しげ たか
鈴木重隆氏
(白津)



一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

長友 海夢 ⑩
人材確保と関係人口の創出

渡辺 真一郎 ⑪
町の諸証明のコンビニ交付

瀧田 勝昭 ⑫
持続可能な自治体業務

星野 あけみ ⑬
地域防災

鈴木 元 ⑭
観光振興

山内 浩二 ⑮
フレイル（虚弱）システム

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

YouTube 配信中！

猪苗代町議会は、スマートフォン等端末での閲覧ができるよう、YouTubeによる配信をしています。今号におきましては機材トラブルのため、音声のみ公開しております。各ページのQRコードをご利用ください。Wi-Fi環境での利用をお勧めします。

※この映像は猪苗代町議会の公式記録ではありません。

議会報告会 地域におじゃまします

お住まいの地区以外の報告会に参加いただくこともできます。

日時や場所が決まりましたら、町のホームページ等でお知らせします。

開催予定月

5月 猪苗代地区・千里地区

11月 翁島地区・月輪地区

長瀬地区・吾妻地区

一般会議募集します

町民の希望に柔軟に対応するため、町民と議員の意見や情報の交換の場として一般会議を設置します。

詳細につきましては、
議会事務局（0242-62-5666）
までお問い合わせください。

～ 請願・陳情の手続きについて～

どうやって出すの？

請願・陳情書はいつでも提出できます。

日本語で

- 1.提出年月日
- 2.請願者・陳情者の住所
- 3.請願者・陳情者の氏名
(法人の場合は(「名称」「代表者氏名」))
- 4.請願者・陳情者の電話番号
- 5.紹介議員名(請願のみ。陳情は不要)
- 6.請願・陳情の趣旨

を記載し、「押印」のうえ議長宛に提出して下さい。

なお、必要に応じて現場の案内図、現場写真、意見書(案)などを添付してください。

請願書・陳情書の様式に決まりはありませんが、記載例などをホームページに記載しています。



議会構成がかわりました

3月定例会において正副議長の選挙が行われた結果、議長に長澤操氏、副議長に鈴木元氏が就任しました。
委員会構成も一部変更になりました。



副議長
鈴木 元



議長
長澤 操

経済厚生常任委員会

委員長	渡部一登
副委員長	山内浩二
	長友海夢
	瀧田勝昭
	関田和
	鈴木元

総務文教常任委員会

委員長	大高佐代美
副委員長	五十嵐三工子
	星野あけみ
	渡辺真一郎
	後藤公男
	長澤操

議会運営委員会

委員長	渡辺真一郎
副委員長	後藤公男
	大高佐代美
	星野あけみ

広報広聴常任委員会

委員長	星野あけみ
副委員長	長友海夢
	山内浩二
	大高佐代美
	渡辺真一郎
	瀧田勝昭
	五十嵐三工子
	後藤公男
	関田和
	鈴木元

会津若松地方広域市町村圏 整備組合議会議員

瀧田勝昭
後藤公男

議会選出監査委員

山内 浩二

議員辞職のお知らせ

佐藤 英一郎 議員 令和7年12月31日付けで辞職

閉会中のため地方自治法第126条の規定により議長において許可

安齋 浩明 議員 令和8年3月3日付けで辞職

閉会中のため本会議の議決によって許可

これにより、議員定数14人に対し、欠員が2人となりました。



ながとも ひろむ
長友 海夢



音声はこちら

Q. ふるさと納税の寄附状況は
A. 1億6,000万円へ増額

【質問】町内事業者から、特定のふるさと納税サイトへの掲載要望があった場合の対応は。
【企画財務課長】中間事業者との調整や利用料などを踏まえ、費用対効果を検討する。
【質問】返礼品の特性を踏まえ、サイトをより柔軟に検討すべきでは。
【企画財務課長】今後は柔軟に調整・対応していく。

【質問】返礼品登録までの事務手続きの流れは。
【企画財務課長】申請書、見積書、返礼品情報などの提出が必要。資料作成や写真データの準備は、協力隊員が事業者と中間事業者の間に入り、登録・掲載までをサポート。事務手続きの簡略化を図っている。

【質問】ふるさと納税業務を担う協力隊員の任期満了後の体制は。
【企画財務課長】令和9年3月で任期満了予定。ノウハウの継承が重要と認識している。継承期間の確保や会計年度任用職員としての採用も視野に、体制維持を図りたい。

【質問】寄附額増加に向けた次年度以降の取組は。
【企画財務課長】既存の取組強化に加え、ガバメントクラウドファンディングを実施予定。猪苗代湖の環境保全事業をテーマに、ラムサール条約登録を契機とした寄附額増加を図り、財源確保に繋げたい。



ポータルサイト一覧

Q. 地域おこし協力隊員の募集状況は
A. 6つの分野で募集している

【質問】応募状況は。
【企画財務課長】問合せは複数寄せられており、登山・山岳トレッキング等の環境整備分野で1件の応募があった。今後、面接等の手続を進めていく。

【質問】人材確保や移住促進の観点から、広報に特化した人材の確保も検討すべきでは。
【総務課長】外部人材の活用も含め、先進事例を参考に検討したい。

Q. 仕事の手順書は
A. 各課でマニュアル化

【質問】交付金の事務処理の誤りなど、再発防止策は。
【副町長】年度当初に財務事項の留意事項等を発出しているが、機会を捉えて職員に通知し、このような事案が発生しないよう事務事業を進めてまいりたい。

【質問】町の良い点を活かす職員の指導環境づくりは。
【企画財務課長】地方創生に向けて目的意識を持って業務にあたるのは重要で、情報共有や研修を通じて取り組んでいく。



【質問】町職員数の推移は。
【総務課長】10年前と比較し職員数はほぼ同じ、職員比率は微増。会計年度任用職員もほぼ横ばいである。
【質問】当町は人件費が財政圧迫という事態にならないか。
【総務課長】町は県内でも低い水準である。

【商工観光課長】地域創造力アドバイザーを活用し、観光協会をDMOに登録、特色ある観光業を育成する。地域活性化起業者も申請中である。
【質問】地域活性化起業者人制度等を活用し、経済界との交流も進めては。
【商工観光課長】都市部の考えを持って町の活性化を活用したい。



わたなべ しんいちろう
渡辺 真一郎



音声はこちら

Q. 諸証明のコンビニ交付の検討は
A. 費用対効果で導入には至らず

【質問】コンビニ交付は全国で約8割の自治体を実施。町も導入を進めるべきでは。
【町民生活課長】システムの維持管理コストの課題があり、費用対効果を判断しながら慎重に検討したい。
【質問】浜通り、中通りの自治体はほとんど実施されているが。
【町民生活課長】震災及び原発事故で避難されている住民が多く、会津地方と比較して導入が進んでいると認識している。
【質問】広域町村で連携を図れないか。
【町民生活課長】委託業者のシステムが異なり難しい。



たきた かつあき
瀧田 勝昭

音声はこちら



Q. 持続可能な自治体の在り方とは

A. 限られた人員、予算で行政サービスを提供

【質問】行政運営上の問題点の認識は。

【総務課長】人口減少、少子高齢化で、福祉や医療、介護の行政サービスの需要が高まり、公費負担の増など、サービスの維持に問題がある。また、老朽化した公共施設や道路、橋梁、上下水道施設などのインフラの維持管理、義務的経費の増加に伴う財政構造の変化などを認識している。

若年層年代の減少、都市部への流出、民間企業との競合により、職員の採用が年々難しい状況であり、特に土木等の技術職や保健師保育教諭などの資格専門職の確保が困難な状況となっている。

【質問】人口減少に伴う現状と課題は。

【企画財務課長】2月末現住人口が1万2156人である。目標人数は1万2900人で、目標以下である。出生者数は、本年36人、昨年38人と目標の100人を達成できない。

持続的発展のため、若者の移住定住、少子化高齢化対策、子育て支援策に加え、産業経済活動の維持、就業場所の確保、さらには交流人口の拡大を図る。



達沢大橋補修工事の路面切削の様子

Q. 若手職員の離職の実態は
A. 過去10年間は年2人以上離職

【質問】インフラの老朽化対応とその財源対策としての町債の活用は。

【企画財務課長】計画の進捗状況は、優先順位づけや財政負担の平準化を図り事業実施に努めるが、厳しい財政状況で、補助金の交付率が低く財源が確保できないなど、計画の進捗はできていない。

加えて、施設の統廃合や維持管理に係る人材の確保の課題はある。早急に緊急的に実施する場合は、起債措置も含め、実施できる予算配分や柔軟な事業の実施を進める。

【質問】会計年度任用職員の実態は。

【総務課長】会計年度任用職員の3月1日現在の状況は、募集人数158名のうち、11名が欠員である。処遇は福島県に準拠し、給与や休暇制度などを運用している。以前の臨時職員制度と比べると、退職金制度や勤勉手当の支給など、改善が図られている。

今後募集を充足するため、詳細な業務内容の周知はもちろん、会計年度任用職員制度の理解を得ながら、募集を図る。

Q. 冬期間閉鎖の公衆トイレは
A. 都市公園内の公衆トイレである

【質問】観光地でもあることからトイレが使用できる環境が望まれる。町の考えは。

【建設課長】冬期間は、積雪のため公園が利用できないこと、パネルヒーターが整備されていないこと、除雪や清掃が必要になることから閉鎖している。

隣接するカメラーナや学びいな内のトイレを利用していただいている。



準備中のトイレコンテナ

【質問】災害時にもトイレは必要であり、新たに公衆トイレを整備する考えは。

【建設課長】都市公園内の整備の予定はない。災害時には仮設トイレの設置が有効である。

道の駅猪苗代に県整備のトイレコンテナを設置し、4月から11月まで稼働する予定になっている。

【質問】吾妻地区には観光地もある。公衆トイレ整備の考えは。

【商工観光課長】多数の来訪者があるが整備していない。将来的に整備について協議していければと考えている。

Q. 自主防災組織の活動の把握は
A. 活動は把握していない

【質問】防災組織としての活動の実態が見えてこない。活動マニュアルや活動内容を把握しているのか。

【総務課長】令和7年4月現在、108行政区中60行政区で組織されている。

4月の全体区長会議にて自主防災組織の結成や災害時における行動などを伝えている。各自主防災組織では、それぞれ規約を定め、災害による被害の防止や軽減を図るため、自主的な活動を実施していると認識している。

【質問】自主防災組織とのかわりは。

【総務課長】防災知識を深めるため、町民出前講座の実施や講演など事業実施のお手伝いをする。

音声はこちら



ほしの
星野 あけみ



鈴木 元

音声はこちら



Q. 観光振興における数値目標は

A. 観光入込み 188 万人、教育旅行 4.7 万人

【質問】今後、重点を置いて取り組む観光分野は。

【商工観光課長】スキーを中心としたスノーコンテ
ンツ、さらには自然、
農業、文化等の体験や
教育旅行の受入れ強化
に取り組む。

【質問】持続可能な観光の将来像をどのように描いているのか。

【商工観光課長】体験、交流、
学習をテーマとした農
林水産業と観光業の融
合、さらには広域観光
の推進、観光PRの充
実強化に努める。

【質問】観光と雇用政策の一体的な推進は。

【商工観光課長】一年を通じた観光の推進や、高付
加価値化による収益の
向上を図り、人材の育
成と定着に取組む事で
更なる雇用の創出を
図っていく。

【質問】公共交通の案内や予約方法等の多言語化の現状は。

【商工観光課長】観光協会のHPに英語対応のチャ
ットボットの導入を予
定している。県や広域
観光協議会の商談会等
を活用して情報発信に
努めていく。

【質問】インフルエンサーの活用等、情報発信戦略に対する見解は。

【商工観光課長】インフルエ
ンサーの活用も含めDM
Oと共に検討する。



公共交通の多言語化は

【質問】観光戦略の中核であるDMOの位置づけは。

【商工観光課長】町の将来像を実現するための観光地経営の中枢と位置づ
けている。観光を通じて
地域内経済への循環
を高め、雇用創出や事
業継承に繋げる事を最
終的な目標としている。

【質問】二次交通の確保による利便性の向上や、広域的な観光振興の構築のためにもDMOによる地域間連携も必要では。

【商工観光課長】今後、周辺自治体との連携を積極
推進していく。広域圏
の一員として連携して
きた郡山市や、具体的
な連携がなかった福島
市等、それぞれが有す
る都市機能と、当町が
持つ豊富な観光資源を
相互に補完し合う形で
連携を図ってまいりた
い。

DMOとは…

地域の多様な関係者を巻き込み、科学的アプローチを用いて観光地経営（戦略策定、資源の磨き上げ、マーケティング）を行う『観光地域づくり法人』のこと。自治体や民間企業と連携し、地域の「稼ぐ力」を引き出す司令塔の役割を果たします。

観光庁より



山内 浩二

音声はこちら



Q. 高齢者の健康見守りは

A. フレイル(虚弱)リスクを早期発見

【質問】フレイルシステムの内容は。

【保健福祉課長】各家庭の電力使用量を計測し、人口知能で分析、フレイルリスクが高い状態かの判定を行うシステムの

【質問】利用者負担は。

【保健福祉課長】負担はなく、希望者は申込書類を役場へ提出。役場への来庁が難しい方は職員が自宅訪問する。

【質問】対応、対策、指導は。

【保健福祉課長】検知結果が毎月町に提出されるため、対象者と判断された方には保健師が訪問、状態を確認した上で、必要な助言等を行う。

【質問】対象高齢者への呼びかけは。

【保健福祉課長】今後も町広報等で事業内容説明を行う。



【質問】高齢者の冬季間のみ共同生活できる住宅整備計画は。

【建設課長】保健福祉課と関係部局が連携し冬季間のみ積雪により生活困難者が生活できる住宅整備を検討していく。

【質問】どのような戦略性を持ってDMOの運営に取り組むのか。

【商工観光課長】第一に、滞在時間の延長による宿泊率の向上。第二に、高付加価値型の体験商品の造成による消費単価の向上。第三に、地域内事業者との連携による地域内調達率の向上を目指す。

【質問】降雪期に運動不足補うための屋内施設の充実とは。

【生涯学習課長】カメリーナのトレーニングルームや各種運動教室等を活用いただき、運動不足を補うことにつなげる。今後も地域や関係課と連携し屋内スポーツ事業の充実を図っていく。

【質問】除雪がされない道路は。

【建設課長】町道2論戦、生活道路3路線である。

【質問】緊急事態に対応する道路整備は。

【建設課長】道路構造物が老朽化を迎え、これらの維持修繕を優先的に実施。今後は緊急時に必要な路線の改良等に着手していきたい。

【質問】賑わいのある商店街計画は。

【建設課長】都市計画道路や亀ヶ城公園周辺整備事業と連携した街路網を整備する。

【質問】商店街の課題は。

【商工観光課長】人口減や長引く物価高、後継者不足など、地方全体が直面している。

【質問】商店再編整備の推進は。

【商工観光課長】中心市街地活性化計画を基に、実施していく。

【質問】救済物資施設は何ヶ所か。

【総務課長】12か所である。

【質問】災害物資は何人分保管されているか。

【総務課長】1日2千4百人分備蓄している。

【質問】今後の防災拠点施設整備計画は。

【総務課長】ハード面では完了している。

委員会レポート

町のホームページ

【概要】

これまでのホームページは平成23年から稼働し、運用については、情報の増加や分類リンク、ナビゲーション等が適切に配置されておらず、サイト構造自体に支障があった。今後は、ICTの進展に伴う利用者のニーズや、高齢者や障がい者を含めた利用者がウェブで提供される情報を正しく取得し利用できるよう、全面的にリニューアルする。

【意見】

当初より公開が1年遅れる中、スケジュールをみると業者に對し、町側が情報提供を怠ったために遅れたのではないかと意見が出た。町からは全体像が見えていないことを理由に、この1年間段階的な説明がなかった。

9月上旬の企画書と現在を比較しても変化がなく、情報化推進委員会で活発な議論がされたのか疑問に感じる。

委託先の業者は県内で最大のシェアを占めるため、他の自治体と似通った形になるのではないかとの声が出た。

より良いホームページにするために、公開が遅れているからこそ段階的な説明を丁寧にするべきだ。

総務文教常任委員会

経過としては、ホームページの町民アンケート調査、情報化推進委員会では構成やサブサイトの作成を協議した。改善点として、トップデザインに町をアピールする画像をスライドショーで設置。スマートフォンでも閲覧しやすい縦1列を基本としたデザインに刷新する。また、キーワードの検索やライブイベントの検索は情報を探しやすくした。



新しくなった町のホームページ

国民健康保険

【概要】

令和6年4月1日時点の国民健康保険加入世帯は1859世帯、被保険者数は2874人で、令和4年度と比較して減少傾向にある。国保税は所得等に応じた軽減措置がある。

今後の制度運営は、令和8年度から国民健康保険税に子ども・子育て支援金分が追加される予定である。また、県内で税率を段階的に統一し、令和11年度には県内59市町村で同一税率とする方針が示されている。これに伴い保険税の増加も懸念され、急激な負担増を避けるため基金の活用も含めた対応を検討していく必要がある。

【意見】

国保加入者の減少は、制度を支える「分母」の縮小に直結し、医療費が増加すれば、財政運営がより不安定になる可能性がある。軽減世帯が一定割合を占め、滞納繰越分の現状を踏まえると、収納強化

だけでなく、納付困難世帯への早期相談や分納支援など実効性のある伴走型対応が重要である。特に保険証廃止により短期証対応ができなくなったことで滞納抑止の手段が限られ、特別療養費への移行が増える可能性もあり、税務課と連携した新たな運用整理と丁寧な周知が求められる。

さらに、県内税率統一と子ども・子育て支援金分の追加により、将来的に保険料負担が上昇する可能性がある。急激な負担増を抑える観点から、基金の活用方針や段階的な平準化の考え方を明確にし、住民に分かりやすく示すことが重要である。



保険税水準の統一に関する
福島県作成のチラシ

広報・視察研修

【広報】

議会だより181号
令和8年1月29日発行号

【視察研修】

会津美里町

2月3日(火)会津美里町議会広報広聴常任委員会との行政視察研修を行った。

会津美里町議会では、「町民との意見交換会」と「会津西陵高校生との意見交換会」を行っている。

町民に受け入れやすく響きの良い「ミサトーク」とのネーミングでチラシを作成し、周知・広報している。令和5年度までは、地区別意見交換会として、12地区で開催。6年度からは、地域別意見交換会とし、高田・本郷・新鶴の3地域で開催している。御用聞きのような内容になり、意見交換の目的である政策提案機能の強化が図られていない。また、地域によって参加者数に大きな差がある。

広報広聴常任委員会

高校生との意見交換は、「探究の授業」の一環として、議員への取材依頼がきっかけとなった。「直接話をしたほうが、議員を知ってもらえるの

【意見】

では「高校生と町民のつながりが持てる」とよいのでは」との考えから、町民・議員・高校生との意見交換としている。

意見交換会のネーミング「ミサトーク」や広報チラシがとても興味深い。地域ごとの開催や曜日・時間を変えての開催で一人でも多くの町民からの声をお聴きしたいとの思いは同じである。

今後、議会報告・意見交換の場を通じて、議会への興味・関心、理解を深めて頂くとともに、町民との交流が図れるよう取り組んでいく。



会津美里町での研修

令和8年2月議会定例会

会津若松地方広域市町村圏整備組合

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会定例会が、2月9日から2月20日に行われた。

令和8年度は予算総額全体で62億3600万円、猪苗代の負担割合は合計4億5900万円、住民一人当たり3万8000円程。主なものは、衛生費負担金1億1600万円、消防費負担金3億2800万円。今後の財政見通しとしては、令和9年、令和10年は大きく増え、年額75億9000万円、約21%増でこれは衛生費、消防費の増加に拠るもの。

令和8年4月より新ごみ焼却施設が稼働。将来の人口減少を見込んで現在の施設より焼却能力を抑えて建設された。

各市町村は新施設稼働に向けてごみ減量実施計画に基づきごみの減量化に取り組んできた。この目標が未達の場合に処理しきれないごみが発生する。受入制限の対応を検討している。



4月より稼働のごみ焼却施設

わたしたちの町 ～雪だるま大使として感じたこと～



かとうの わこ
上遠野 和心 さん
(猪苗代小学校 令和7年度卒業)



私は一月に雪だるま大使として二泊三日で沖縄県に行きました。ゆたか小学校で福島県や猪苗代町の紹介をしたり、一緒に遊んだりしました。町から運んだ雪には全員大喜びでした。また、きれいな海や首里城の見学など、沖縄の歴史や文化を知ることができました。

二月に沖縄からさとうきび大使が来たときは、再び喜び合い、校庭でそり遊びや雪だるま作りをして遊びました。一緒に給食を食べることもできてよかったです。

今回のゆきだるま大使の経験をおして、自分とは違う場所で育った方々の事を知るの、とても貴重なことだと強く感じました。これからも、もっといろいろな地域の人々と交流をしてみたいと思います。



猪苗代小学校の校庭で、さとうきび大使とソリ遊び

傍聴においで下さい

6月議会は 6月2日(火曜日) 開会予定です。

【一般質問予定日：8日(月)・9日(火)】

※質問者・質問内容については6月1日以降に町のホームページに掲載します。また右施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ



今号から広報委員のメンバーが変わりました。よろしくお願いいたします。

編集後記

春の訪れとともに、町内の学校では卒業式を迎えました▼晴れやかな表情で学び舎を巣立つ卒業生の姿は、とても頼もしく感じられました▼これまで支えてこられた御家族や先生方、地域の皆さまの思いを胸に、新たな環境へと進む卒業生の皆さんが、各々の夢や目標に向かって力強く歩んでいく事を心から願っております▼卒業式は地域全体で子どもたちを見守り、安心して学び、成長できる町づくりの大切さを改めて感じる節目でもあります▼私たちも、子どもたちが安心して夢を描ける町づくりに努めてまいります。

鈴木 元

広報広聴常任委員会

(広報担当)

- 委員長 星野 あけみ
- 副委員長 長友 海夢
- 委員 大高 佐代美
- 委員 瀧田 勝昭
- 委員 五十嵐ミエ子
- 委員 鈴木 元